

市長の窓

しげ のぶ
滋宣の



ほう ちゅう かん

あん ちゅう めい

“忙中閑あり暗中明あり”

その 33

たまゆら
～ 玉 響 ～

「かすかな」「あるかないか」「はかない」といったことをさす言葉です。

「玉響(たまかぎる) 昨日の夕 見しものを今日の朝に 恋ふべきものか」(万葉集2391)の「玉響」を「たまゆらに」と訓んで、翡翠や瑠璃、真珠などの美しい宝玉が触れ合って、かすかな音を立てることから、用いられるようになりました。

現在はほとんど使われない言葉ですが、なんと美しい言葉と響きでしょうか。

古の人は、宝石の美しさだけでなく、かすかに響くその音まで愛でていたのでしょうか。今に残し、使っていきたい言葉です。

君が手とわが手と触れしたまゆらの

心ゆらぎは知らずやありけん
(太田 水穂)

能代市長 齊藤 滋宣



5月28日に能代市総合防災訓練および水防訓練を実施しました。